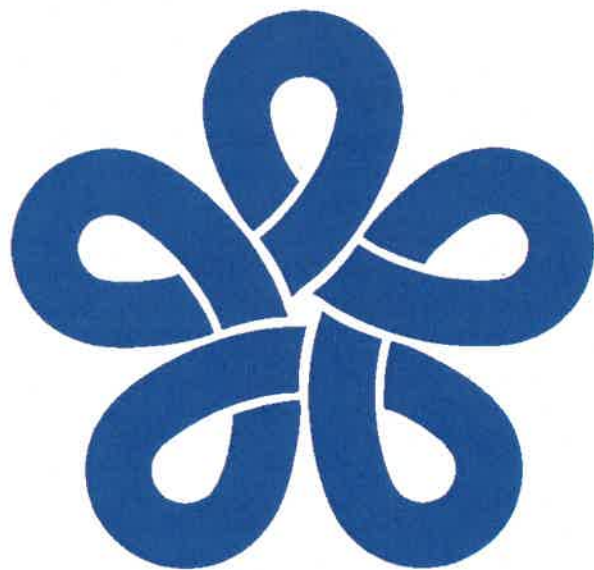


令和7年度
福岡県議会・大韓民国慶尚南道議会友好訪問団
報告書



令和8年3月30日～4月1日
福岡県議会

1 期間

令和8年3月30日（月）～4月1日（水）

2 訪問団（参加者）

藏内 勇夫 福岡県議会議長

原口 剣生 福岡県日韓友好議員連盟会長

松尾 統章 自由民主党福岡県議団会長

岩元 一儀 民主県政クラブ県議団会長

椛島 徳博 新政会福岡県議団会長

中牟田伸二 福岡県議会議員

川端 耕一 福岡県議会議員

大田 満 福岡県日韓友好議員連盟事務局長

波多江祐介 福岡県議会議員

宮川宗一郎 福岡県議会議員

（随員職員）議会事務局調査課政策企画支援室長 他2名

3 行程表

別紙のとおり

4 訪問・視察先

①慶尚南道議会 表敬訪問

②韓日親善協会中央会 表敬訪問

③ジェットロソウル事務所

④リウム美術館

(1) 慶尚南道議会 表敬訪問

行事概要

日 時：令和8年3月30日（月）13：10～

場 所：慶尚南道議会

応対者：崔學範（チェ・ハクボム）議長

朴 仁（パク・イン）韓日親善議員連盟 副会長

陳相洛（ジン・サンラク）韓日親善議員連盟 会長

崔東元（チェ・ドンウォン）韓日親善議員連盟 副会長

金順鐸（キム・スンテク）韓日親善親善議員連盟 議員

李在斗（イ・ジェドゥ）韓日親善議員連盟 議員

鄭雙鶴（チョン・サンハク）韓日親善議員連盟 議員

尹成惠（ユン・ソンヘ）慶尚南道議会事務所長

慶尚南道概要

世帯数：1,525,337 世帯（3,340,470 人）

有権者数：約 280 万 4 千人

面積：10,542.62 km²

行政区域：8市、10郡、5行政区、305邑面洞

議員数：64名（うち地域区議員58名、比例代表議員6名）

慶尚南道議会は1952年5月20日に、60人の道議会議員で構成された初代議会を開会し、現在、第12代議会（2022～2026年）が開会している。

議長1名と副議長2名を無記名により選出し（任期2年）、現在は崔學範（チェ・ハクボム）議員が第12代後半期議長を務める。

各種の議案を専門的かつ効率的に審査するため、専門分野別に7つの常任委員会を設置。また、特定の政策や案件を議決するために設置された予算決算特別委員会、倫理特別委員会がある。

崔學範（チェ・ハクボム）議長略歴

氏 名：崔學範（チェ・ハクボム）

出身地：慶尚南道 金海市

選挙区：金海第1区

政党：国民の力

経 歴：

- 現 第 12 代 慶尚南道議会後半期議長（2024 年 7 月～）
- 現 「国民の力」 慶尚南道党 副委員長
- 第 12 代 慶尚南道議会 前半期 第 1 副議長
- 第 20 代 大統領選挙尹錫悦候補組織本部（金海甲）委員長
- 第 20 代 大統領選挙 「国民の力」 金海甲 疎通委員長
- 「国民の力」 慶尚南道党 教育委員長
- 第 10 代 慶尚南道議会 前半期 教育委員長
- 金海中部警察署 治安政策 評価委員長

（参考：慶尚南道議会 HP より）

【表敬訪問】

慶尚南道議会崔學範（チェ・ハクボム）議長をはじめとする韓日親善議員連盟の皆様を表敬訪問した。

崔議長は、「本年は、2006年に相互交流を果たして以来20周年となる節目の年であり、昨年には友好交流を更新し協力の基盤はより一層強固なものとなった。これまでの両議会の堅固な友情の礎のもと、これからも経済、文化、青年交流に至るまで、多様な分野において両地域の未来の発展を牽引する政策パートナーとなるよう願っている」と挨拶された。

これを受け、藏内議長は改めて、昨年の覚書締結に尽力いただいた崔議長に謝辞を示し、「昨年、慶尚南道議会とワンヘルスに関する協定を締結したことが、同年夏に日中韓それぞれの獣医師会でワンヘルスに関するMOUを締結することにも繋がった。また、こうした動きが、韓国ソウルでの日中韓首脳会談における感染症対策の取り決めにも繋がっている。我々地方議会が提言したことが、国の施策となり3カ国での取り組みに繋がったことは大変意義深いことだ」と述べられた。

さらに、福岡県議会が『九州はひとつ』という理念のもと、韓国に最も近い長崎県対馬における海洋プラスチック問題に課題認識があることに言及し、福岡県議会の取り組みを支援いただくよう要請を行った。

その後の意見交換で、慶尚南道議会のキム・スンテク議員からは、釜山市内の大学生による対馬での清掃活動の紹介があり、道議会においても共通の課題認識を有していることを確認した。藏内議長は、福岡県議会が取り組むこの問題に対し、慶尚南道議会からも同様の趣旨の声明を出して支援を呼びかけることを提案。慶尚南道議会側もこれに共感し、努力を重ねていく意向が示された。







【慶尚南道議会 本会議場見学】

表敬訪問の意見交換終了後、昨年度新たに完成した議場設備を見学した。

慶尚南道議会では、議会運営の効率化のため本会議場の ICT 化に取り組んでおり、今回の改修では、議長の進行シナリオ及び議員の発言原稿の補助モニターとして活用するため、新たに議場後方に大型モニターを3台設置。

このほか、従来から整備されている稼働式の発言台や、発言原稿用プロンプターなど、先進的な議会運営の取り組みについて説明を受けながら実際に操作して体験し、本県議会における ICT 化推進の参考とすることができた。





【慶尚南道議会 議員会館見学】

本会議場見学に引き続き、議員会館の見学を行った。

同施設は、昨年新築された地下1階、地上3階（延べ床面積約3,570㎡）の建物であり、主な施設として46室の個人議員研究室や道民のための講演場、休憩室などを備えた議政活動空間となっている。

本館3階と連絡橋で結ばれているため徒歩で移動ができ、議員の活動を支援するための各種設備など、機能的な設計について詳細な説明を受けた。本県議会の既存設備の効率的な活用を検討していくうえで、参考となる知見を得ることができた。



(2) 韓日親善協会中央会 表敬訪問

行事概要

日 時：令和8年3月31日（火）10：30～

場 所：韓日親善協会中央会

応対者：李丙琪（イ・ビョンギ）	会長 ※欠席
沈允肇（シム・ユンジョ）	理事長
金賢明（キム・ヒョンミョン）	監事
高漢碩（コ・ハンソク）	理事
金龍縣（キム・ヨンヒョン）	理事
玉経根（オク・キョンクン）	事務局長

団体概要

設 立：1977 年

設立目的：韓日基本条約の精神に基づき、両国の人々の交流を通じて友好を促進している。相互理解と協力を促進することで、両国の平和と繁栄に貢献することを目指している。

設立の経緯：1975 年に設立された日韓・韓日議員連盟は、両国国民間の理解と協力の促進および友好増進のため、「草の根の民間外交窓口」が切実に必要であるという認識のもと、日韓・韓日親善協会を結成することに合意し、1976 年に日本全国に 47 の都道府県親善協会と 1 つの中央会を結成し、韓国国内では、1977 年 11 月 22 日の中央会設立を皮切りに、特別市、広域市、各道の商工会議所に地方親善協会を結成し、市・道商工会議所の会長が地方親善協会の会長を兼任するようにした。

1986 年 7 月、外交通商部より社団法人設立の許可（第 188 号）を受けた。

基本的な活動方針：

- ① 日韓両国の親善協会を中核として民間交流を拡大・強化し、政府の外交政策を側面から支援する
- ② 地域間および職能団体間の姉妹提携の拡大推進および交流の活性化を通じ、相互協力体制を構築する
- ③ 日韓両国間の青少年交流、文化・スポーツ交流の拡大推進により、未来志

向的な両国関係を構築する

- ④ 親善協会を通じた民間レベルの協力体制の強化により、日韓両国の経済協力基盤を造成・拡大する
- ⑤ 日本国内の各種親善協会および友好団体の訪韓団を招致し、安保施設、工業施設、歴史関連施設の見学を斡旋することで、日本国民に正しい韓国観を確立させる

(参考：韓日親善協会中央会 HP より)

【表敬訪問】

ソウル市内にある韓日親善協会中央会を表敬訪問した。

3月24日の定期総会で新たに就任した李丙琪（イ・ビョンギ）会長は、残念ながらスケジュールの都合により当日の出席が叶わなかったが、沈允肇（シム・ユンジョ）理事長をはじめとする協会役員の皆様と面会、意見交換を行った。

意見交換に先立ち、令和8年3月1日にご逝去された福岡県日韓親善協会副会長の村井正隆氏に対し、一同で黙祷を捧げ、弔意を伝えた。

藏内議長は、福岡県議会と慶尚南道議会との友好交流締結の際に、村井氏に大変尽力いただいたことに改めて感謝の意を示すとともに、「村井氏がこれまで韓日親善協会中央会とのつながりを築き、韓国と日本の架け橋となってくれた功績を称え、その遺志を継ぎ、福岡県議会として今後の友好関係の発展に尽力していく」と述べられた。

沈理事長からも、「村井氏の訃報に対し胸を痛めている。同氏は韓国内においてもよく知られている人物であり、長年にわたり両国の交流に尽力されてきたことに感謝申し上げる」と述べられた。

意見交換では、藏内議長が、昨年慶尚南道議会との間でワンヘルスに関する新たな覚書を締結したことを報告し、国際的な連携の重要性を強調された。

特に、本県議会が推進するワンヘルスの理念に基づき、人と動物、環境の健康を一体的に守るという視点から海洋プラスチック問題へ取り組むことについて、韓日親善協会中央会へも支援を依頼した。

沈理事長は、2017年8月にソウルで開催された世界獣医師会大会に自身が参加されたことに言及され、ワンヘルスの取り組みが海洋生物保護にまで及ぶことに関心を示され、課題解決に向けて活発な意見交換が行われた。





【韓日親善協会中央会主催 意見交換会】

行事概要

日 時：令和8年3月31日（火）12：00～

場 所：韓日親善協会中央会

応対者：沈允肇（シム・ユンジョ） 理事長

金賢明（キム・ヒョンミョン） 監事

高漢碩（コ・ハンソク） 理事

金龍縣（キム・ヨンヒョン） 理事

玉経根（オク・キョンクン） 事務局長

同協会の主催により昼食会が開催され、沈允肇（シム・ユンジョ）理事長をはじめ、金賢明（キム・ヒョンミョン）監事、高漢碩（コ・ハンソク）理事など役員5名が出席した。

福岡県議会からは、福岡県日韓友好議員連盟の原口剣生会長が挨拶し、「当初の協定締結に尽力いただいた故キムスハン会長、故村井正隆氏をはじめ、長年にわたり交流の礎を築いてこられた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

福岡県議会としても今後なお一層、友好交流の精神を大切にし、両国間におけるワンヘルスの課題解決に向けて取り組んでいく」と挨拶された。



(3) ジェトロソウル事務所 訪問・意見交換

行事概要

日 時：令和8年3月31日（火）14：00～

場 所：ジェトロソウル事務所 大会議室

対応者：安藤 雅巳 ジェトロソウル事務所所長

ジェトロソウル事務所を訪問した。

安藤所長から、昨今の韓国における最新の経済情勢について最新のデータを交えながら詳細な説明を受け、意見交換を行った。

特に、ソウルの都市部集中に対する取り組み、若年層の失業率改善のための起業支援の重要性、日本企業が韓国の先進的な AI 技術を持つスタートアップ企業と連携する可能性等について活発な議論が行われた。

藏内議長は、福岡県議会が慶尚南道議会と 2012 年に友好交流協定を締結し、昨年にはワンヘルス分野に関する新たな覚書を締結したことに触れ、環境問題が経済活動にも影響を与える現状を踏まえ、ビジネスの側面からワンヘルスの重要性を説明した。

さらに、喫緊の課題と認識する海洋プラスチック問題に言及し、韓国内におけるゴミの分別に関する意識等についても意見交換を行った。こうした両国間に共通する課題について多角的な解決策を探る上で、経済的な視点を取り入れた有意義な意見交換の機会となった。



(4) リウム美術館視察

行事概要

日 時：令和8年3月31日（火）15:55～

場 所：リウム美術館（サムスン美術館）

ソウル特別市龍山区梨泰院路 55 ギル 60-16 (04348) (漢南洞)

設 立：2004 年 10 月

観覧時間：火曜日～日曜日（10:00～18:00、受付 17:30 まで）

休館日：毎週月曜日、毎年1月1日、旧暦正月等

訪問団は、ソウルにあるサムスン文化財団が運営し、常設展を無料で観覧可能なリウム美術館を視察した。

同美術館は、世界的な建築家（マリオ・ボッタ、ジャン・ヌーヴェル、レム・コールハース）が設計した3つの建物が地下でつながり、韓国の伝統美術と国内外の現代アートを展示しているほか、子供たちが美術を通して文化に親しむための様々なプログラムを提供する児童教育文化センターが併設されている。

韓国文化の奥深さを学ぶとともに、両国間の文化的なつながりや地域レベルでの交流の重要性を改めて実感し、友好関係の深化を身近に感じる貴重な機会となった。



◆訪問団長コメント

今回の慶尚南道議会および韓日親善協会中央会への表敬訪問は、交流 20 周年という大きな節目にあたり、福岡県議会と慶尚南道議会が長年にわたり培ってきた信頼と友好の歩みを改めて確認するとともに、これまでの交流を具体的な政策連携へと発展させていく可能性を実感する、極めて意義深い機会となった。

特に、昨年締結したワンヘルスに関する覚書（MOU）が、地方議会間の協力にとどまらず、日中韓獣医師会による連携や、日中韓首脳会談における感染症対策協力へとつながったことは、大きな成果である。地方における取組が国際的な課題解決や政策形成にも影響を及ぼし得ることを示す好例であり、地方議会が果たす役割と、その可能性の大きさを改めて認識した。

また、今回の意見交換では、私から長崎県対馬における海洋プラスチックごみ問題の現状と課題に触れ、国境を越えて広がる海洋環境問題の解決に向け、日韓双方が連携して取り組む必要性について提起した。

その後、慶尚南道議会の崔學範（チェ・ハクボム）議長から、本問題に関する実践的な活動への支持を表明する親書（2026 年 5 月 20 日付）をいただいたことは、今回の訪問における大きな成果の一つである。

ワンヘルスの理念は、人・動物・環境の健康を一体的に捉え、持続可能な社会の実現を目指すものであり、海洋環境保全においても重要な視点となる。韓国大学生による海岸清掃活動の事例紹介もあり、地域住民や若い世代によるボランティア活動に加え、行政や議会が連携した継続的な取組の重要性について認識を共有することができた。今後は、対馬での共同清掃活動など、具体的な協力事業へと発展させ、実務面での交流をさらに深めていきたい。

さらに、韓国と日本の友好交流に長年尽力された福岡県日韓親善協会副会長の故・村井正隆氏が掲げた「交流の積み重ねが信頼の礎である」という理念についても、改めてその意義を確認した。国や地域を越えた信頼関係は、一度の交流で築かれるものではなく、継続的な対話や相互理解の積み重ねによって形成されるものである。今回の訪問を通じて、これまで先人たちが築いてきた交流の成果を継承するとともに、次世代へつなげていく責任を強く感じた。

加えて、ワンヘルスの取組については、国際的な獣医師会の連携や感染症対策への展開を踏まえ、地方から世界へ発信する意義を再確認した。意見交換で

は、動物医療やペット保険制度など、専門分野における課題についても率直な議論を行い、知識や経験を共有することの重要性を認識した。

今後、こうした分野における交流を継続し、専門的知見を生かした協力関係の構築につなげていくことが期待される。

今回の訪問を通じて、福岡県と慶尚南道の友好関係は、単なる人的交流にとどまらず、環境、保健、産業、文化、青年交流など幅広い分野における政策協力へと発展する可能性を有していることを実感した。今後も、これまで築いてきた信頼関係を基盤として、日韓双方が抱える共通課題の解決に向けた連携をさらに深め、地域から国際社会に貢献する取組を推進していきたい。

◆参加議員コメント

今回の訪問は、交流 20 周年という節目にあたり、長年にわたり築き上げてきた福岡県議会と慶尚南道議会との信頼関係を改めて確認するとともに、これまで培ってきた友好交流を、今後の政策連携へと発展させていく機運の高まりを実感する、意義深い機会となった。

ジェットロソウル事務所では、韓国経済の最新動向や産業政策について、統計データを踏まえた説明を受けるとともに、安藤所長との意見交換を通じて、ソウル一極集中への対応、若年層の起業支援、日本企業と韓国 AI スタートアップとの連携可能性などについて理解を深めた。

また、環境問題を経済活動と一体的に捉えるワンヘルスの視点や、海洋プラスチック対策、ごみ分別の取組についても意見交換を行った。さらに、AI をはじめとする新産業の育成や、産学官連携による地域経済活性化の取組について多くの示唆を得ることができた。今後は、韓国の先進事例を参考にしながら、地域産業の競争力強化や新たなビジネス創出、持続可能な社会づくりに向けた政策展開に生かしていきたい。

リウム美術館では、韓国の歴史や伝統文化から現代アートまで幅広い展示に触れ、韓国文化への理解を深めるとともに、日韓両国の文化的なつながりや地域交流の重要性を再認識する機会となった。また、新県立美術館の整備を進める福岡県にとって、文化施設が地域の魅力発信や交流促進の拠点となる可能性を実感し、今後の文化振興施策を検討する上で貴重な示唆を得ることができた。

今回の視察を通じて、経済、産業、環境、文化などの各分野は相互に関連しており、複合的な視点から課題を捉えることの重要性を改めて認識した。また、日本と韓国が共通して抱える人口減少や都市集中、産業競争力の強化、環境問題への対応には、多様な主体による連携が不可欠であることを実感した。今後、今回の視察で得た知見や交流の成果を政策立案や地域づくりに生かし、地域経済の活性化と国際交流の推進に努めていきたい。

大韓民国慶尚南道議会友好訪問団 日程表

	月日	時間	行 程	交通手段
1	3/30 (月)	7:00 8:55 10:00 11:00 11:20 12:00 13:10 14:30 14:45 15:07 17:50 18:30 19:20	集合 福岡空港 発 釜山・金海空港 着 釜山・金海空港 発 昼食 昼食会場 発 慶尚南道議会 表敬訪問 慶尚南道議会 発 昌原中央駅 着 昌原中央駅 発 ソウル駅 着 ホテル着 夕食 (ソウル市内泊)	航空機 専用車(バス) 韓国高速鉄道
2	3/31 (火)	10:30 11:00 12:00 14:00 15:55 18:00	ホテル発 韓日親善協会中央会 表敬訪問 韓日親善協会中央会主催 意見交換会 JETROソウル事務所 リウム美術館 夕食 (ソウル市内泊)	専用車(バス)
3	4/1 (水)	10:00 11:00 12:00 13:55 15:25	ホテル発 昼食 ソウル・仁川国際空港 チェックイン ソウル・仁川国際空港 発 福岡空港 着	航空機

